

既存システムのバージョンアップと 新事業リリースのご紹介

2023年10月にスタートしたインボイス制度をはじめ、2024年4月からトラックドライバーの間外労働時間の上限が引き下げられるなど、ビジネス環境の変化が進んでいます。プラネットではそうした変化に対応するため、既存システムの変更や新しい事業などに取り組んでおり、その一部をご紹介します。



株式会社プラネット
ネットワーク推進本部 企画開発部
アシスタントマネージャー

橋 正剛

インボイス制度導入に合わせた項目を追加

2023年10月から適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されました。プラネットでは制度導入に合わせて、E-DIの既存フォーマットに関連項目を追加しており、同年6月には仕入データに請求元登録番号と元売上年月日を追加しました。

請求元登録番号は仕入データだけでインボイスの要件を満たしたいというお客様に向けたもので、仕入データのみでインボイス対応をするお客様は、登録番号を設定ください。

また、元売上年月日は、返品や値引きによる売上の返還を受ける際にその商品を購入した日付が必要になるための追加項目です。インボイス制度の対象データは仕入データと請求鑑データとなるため、併せての利用をご検討ください。

商品データベースをリニューアル

1997年にサービスを開始した商品データベース（DB）を2024年3月11日にリニューアル

アルします。

これまで、商品名やサイズなどの基本情報が登録された商品DBと、商品の裏面情報などが登録された商品DBプラスの2つがありました。これを1つに統合し、商品を検索すると基本情報と裏面情報を同じDBから閲覧できるようになります。

また、エクセル形式でのアップロードとダウンロードが可能になり、商品登録作業の利便性が向上します。まだ商品DBに登録されていないお客様は、登録のご検討をお願いいたします。

ロジスティクスEDIに新ガイドライン

2023年8月、「事前出荷情報（ASN）の活用による納品伝票レス・検品レス運用ガイドライン」を流通経済研究所ととりまとめました。ASNに3つのバージョンを設け、ASN 1.0は日別・出荷元別・納品先別の総量単位データに賞味期限情報が加わったもの、ASN 2.0は、これに車両認識コード別の積載情報を付加し、その商品がどの車両に積まれているか

が分かるようになっていきます。ASN3.0はさらに細かくなり、パレット別・オリコン別の積載情報が付加されます。検収作業がよりスピーディーにできるようになり、伝票の廃止や荷受作業の効率化に貢献できます。

POSデータクレンジングサービスの提供

株式会社True Dataと共同で取り組んできた「POSデータクレンジングサービス」を2023年9月にリリースしました。小売業によりそれぞれフォーマットが異なるPOSデータを、メーカー独自の商品・店舗マスタ、True Dataの商品マスタ、プラネットの取引先データベースから必要な情報を付与することで、データを分析できる状態に下げらえる、クレンジング代行サービスです。

本サービスによりメーカーは、データクレンジング作業に時間をとられることなく、本来の業務であるデータ分析およびデータを活用したマーケティングやサプライチェーンに関する施策の検討に専念できる環境が実現します。